



見て、感じて学ぶこと～自ら考え、探求する学習活動～

校長 風間 浩也

千歳烏山駅から学校までの道すがら、生け垣の「山茶花（さざんか）」が目を楽しませてくれる季節となっています。もう少しすると、山茶花と共に、「椿（つばき）」の花も芦花の周囲を彩り始めます。この二種類の花は、姿・形がそっくりなのですが、私が小学校の低学年の時、担任の先生に見分け方を教わって以来、大人になってからもこの花々を目にすると、私は自然と見分ける癖がついてしまっています。

この発端は、私が、小学校低学年の音楽で、「たきび」（作詞：巽聖歌/作曲：渡辺茂「♪かきねの かきねの曲がり角～」）を習った時のことに遡ります。2番の歌詞の「♪さざんか さざんか咲いた日に～」に出てくる山茶花の花と、歌詞には出てこないけれど、形がそっくりの椿の切り花を先生が実際に瓶に入れて教室に持ってきてくれました。その時、どんな話をされたのかは覚えてはいませんが、教室に花を飾ってしばらくしたある日、一方の花が、花の形のままポトリと落ちてしまいました。先生は、その時、椿と山茶花の違いは『散り方』にあると教えてくれました。つまり、山茶花は桜などの多くの花と同じように、花びらが一枚一枚はらはらと散っていくのに対して、椿は、花の形を保ったままポトリと落ちるということです。「植物は、花の散り方でも分類できる」と知ったこと、そして、その光景を目の当たりにしたことは、当時の私にとっては印象深い大きな経験でした。大げさではありますが、そのことによって、少しだけ世界を見る目が変わったと言えると思います。事実、その教室での先生の話は40年以上も忘れずに私の心に残っていて、毎年この時期になると、道すがら見かける生け垣の下の花の散り具合を確認して、「これは山茶花」「こっちは椿」と見分け続けています。

おそらく、当時の先生からただ話をされただけでは忘れてしまったことかもしれませんが、教室の窓際に飾られたヨーグルトの瓶に挿してあった花の「落花の様子」を実際に目の当たりにしたことで、今でもその「学び」が心に刻まれています。後日、中学生になってから、国語の授業で「赤い椿 白い椿と落ちにけり」という河東碧梧桐（かわひがし へきごとう）の俳句を学んだ際に、赤白の椿が（はらはらと散ったのではなく）「ポトリ」と花の形を保ったまま同時に落ちた情景を詠んだのだなと理解できました。一つの事実について、伝え方、教え方によって、一生忘れないものになるということは、教育に携わる者として、心に深く留めていかなければならないと自戒しています。

さて、芦花中では先日、校外学習として、2年生は鎌倉へ、1年生は上野・浅草方面へ出かけしてきました。すでに、鎌倉も、上野・浅草も家族と行ったことがあるという人も多かったと思いますが、今回は、誰かに連れて行かれるのではなく、自分たちでコースを調べ、自分たちの足で実際に歩くという経験をしました。1年生は初めての経験に戸惑いながら、2年生は昨年の経験を生かしながらの班行動でした。

実際に現地に行き、自分の目で見て感じるという学びは、どんなにICTが発達しても置き換えられるものではありません。むしろ、バーチャルが発達した時代、見る前にSNSなどで他人の評価を目にする時代だからこそ、現地に行って感じた「自分の感覚」が大事になってきます。実際に街を歩いた距離感、実物を目にしたときのサイズ感など、今回の校外学習で自分なりに感じたことがあったと思います。それぞれの見学先や班行動の過程で見たもの、感じたものを大切にしたいと願っています。今回の1年生の校外学習では、社会問題にもなっている「オーバーツーリズムの実験を体験する」こともテーマの一つに掲げて班行動を実施しました。例えば、10年前には上野の「今戸神社」の「招き猫」に対して海外の方がたくさん詰めかけてくるということなど想像できませんでした。世の中の何が変わったのか、考察に値する現象だと思っています。今回、一人一人が現地で実感し、「なるほど」「なんでだろう」と感じたことを胸に、次の学びのステップにしていくことと期待しています。

また、このことは教室で学ぶ学校での教育活動も同様です。これまでの学校教育以上に、生徒が自ら考え、探求する学習活動が重視され、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業デザインも変化しています。学習者中心の学びに転換していく中で、授業の中で実際に生徒自身が思考力・判断力・表現力を使って学習を深めていく活動について、先日、本校でも授業研究を行うなど、教師の指導力を高める研修を行いました。これからも、芦花中においては、自ら考えを深められる生徒の育成を目指し、行事だけでなく、日頃の学習活動も工夫して取り組んでいきます。

年の瀬も迫ってきましたが、今年も芦花の子どもたちを見守っていただきありがとうございます。来年は、世田谷区として「学校運営協議会」制度を整え、学校と地域の関わる形が一部リニューアルします。芦花中としても、地域と家庭との連携をより多方面に、より強固にしていきたいと計画しています。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。

1、2年生校外学習の様子

【鎌倉校外学習 2年生・I組】



11月28日(金)「温故知新～かまそう鎌倉校外学習」をスローガンに、2年生、I組2年生が鎌倉校外学習に出かけました。当日は曇一つない快晴！秋晴れの空の下、A～C組は、事前に計画した班行動計画に沿って、芦花公園駅チェック、鎌倉チェックを経て、高德院、鶴岡八幡宮等、自分たちで選んだ史跡を巡りました。I組は史跡巡りの他、江ノ電に乗って由比ヶ浜の海を散策するなど、鎌倉の自然にも触れることができました。それぞれ、次年度の京都・奈良の修学旅行に向けてチームワークや自治の力を高めることができました。



【下町校外学習 1年生・I組】

12月12日(金)、1年生とI組1年生が、下町校外学習に出かけました。実行委員が決めたスローガンは「知実協楽(ちじつきょうらく)～未来を創るはじめの一步～」です。I組は、国立科学博物館、上野動物園の見学、A～C組は、浅草寺やかっぱ橋、アメ横、様々な博物館など、



班で決めたルートを巡り、昼食も事前に調べたお店で班ごとに楽しみました。河口湖移動教室の”GREEN”を覚えて



ていますか?Great, Respect,Enjoy,Energy, New Friends。今回の校外学習では互いに尊重し合い、Respectも大幅に達成できました！年が明ければ3ヶ月で2年生。さらなる成長を楽しみにしています。

今年も大変お世話になりました。～閉庁期間～

○学校閉庁期間について

世田谷区では、区立小・中学校全校において下記の期間を学校閉庁期間としております。この期間中は警備員などを除き教職員は原則勤務を行わないこととなります。ご理解、ご協力をお願いします。

学校閉庁期間 令和7年12月29日(月)から令和8年1月3日(土)まで(6日間)

1月の主な行事予定

8日(木)	始業式		19日(月)	学校公開週間、学芸発表会(展示)始
9日(木)	給食始		21日(水)	校内研修会 放課後学習(英語)
12日(月)	成人の日		23日(金)	学校公開週間 終 
13日(火)	全校朝礼 安全		24日(土)	午前中 展示見学可(授業はなし)
14日(水)	職員会議 出張児童館 放課後学習(英)		26日(月)	都立推薦入試 生徒会朝礼 午前授業
15日(木)	校内フリースペース			せたがや探究的な学びメッセ PM
16日(金)	避難訓練 展示準備◎		30日(金)	冬時間 終 芦花小振替休日

始業式について

1月8日(木) 8:25 体育館にて出欠確認、8:35より3学期始業式です。
持ち物 □上履き □通知表 □やりとり帳 □宿題、提出物 □ハンカチ、ティッシュ
□その他、学年、教科等で指示されたもの

新年、新たな希望を胸に、元気に登校する皆さんに会えるのを楽しみにしています！